

科学技術・イノベーションによる国力の強化 (経済安全保障推進法を通じたサプライチェーンの強靱化)



令和4年11月
高市臨時議員提出資料

科学技術・イノベーションによる国力の強化

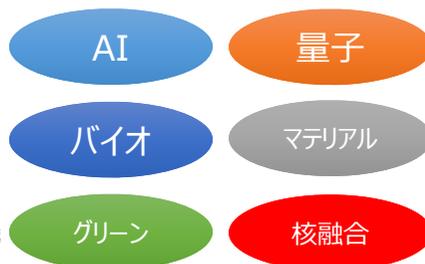
先端科学技術の戦略的な推進

- ◆ 我が国の先端科学技術の優位性や不可欠性を見極め、未来への「勝ち筋」を描き、地球規模課題の解決や持続的な経済成長を図るとともに、国際社会への貢献を拡大。
- ◆ 初の国産量子コンピュータの稼働や、核融合発電の実現に向けた取組を加速する「核融合戦略」の策定等を通じて、官民で重要課題に対応し、世界をリード。
- ◆ その中で、国家及び国民の安全に対する多様な脅威等への有効な対策となりうる、先端技術の研究開発や活用を強力に推進。

戦略の策定・見直し等：「勝ち筋」を描く



- エビデンスに基づく科学技術政策
- 安全・安心に関するシンクタンク機能の構築



研究開発・実証

ムーンショット型研究開発の充実
(社会課題に対応する新目標)

第3期戦略的イノベーション創造
プログラムの開始

経済安全保障重要技術育成
プログラムの推進

科学研究の自由を確保するためには、G7も含めた各国共通のルールに基づく科学研究の協力と協調が必要

→ **適正なルールでのオープンサイエンスと研究インテグリティ・セキュリティの推進**

経済安全保障重要技術育成プログラム (K Program)

- ◆ 経済安全保障推進法に基づく指定基金を用いて、内閣府主導の下で文部科学省及び経済産業省が関係省庁と連携し、重要な先端技術の研究開発を公募により推進（研究開発ビジョン（第一次）に基づき最初の公募を年内に開始予定）。
- ◆ また、新たな技術のシーズやニーズの出現や常に変遷する国際情勢・社会情勢等を踏まえ、今後、機動的かつ柔軟な支援を行うため、また特に喫緊の課題であるサイバーセキュリティ、エネルギー安全保障や食料安全保障などの観点も考慮し、支援対象とすべき技術を追加・修正する。

サプライチェーンの強靱化

- ◆ 産業基盤のデジタル化と高度化、新興国の経済成長とグローバル・バリューチェーンの深化が進む中で、半導体や蓄電池等の重要な物資を外部に過度に依存することによる供給リスクが顕在化。一部の物資については、実際に国民の生存や国民生活・経済活動を脅かす事態に発展した事例も存在。
- ◆ このため、岸田内閣において経済安全保障担当大臣が置かれ、本年5月に経済安全保障推進法が成立。国民の生活や国民生活・経済活動にとって重要な物資を特定重要物資に指定し、サプライチェーンの強靱化を図るための制度を措置。
- ◆ 重要性や外部依存性などの基本指針で定める要件を満たす11の物資を特定重要物資の候補として選定。年内を目途に政令で特定重要物資に指定し、生産基盤の整備や技術開発（※）などのサプライチェーンの強靱化を図っていく。（※）例えば、レアアースフリー磁石の開発やクラウドプログラムの技術開発など

経済安全保障推進法の全体像

(1) サプライチェーンの強靱化

国民の生存、国民生活・経済活動に大きな影響のある物資の安定供給確保を図るため、特定重要物資の指定、民間事業者の計画の認定・支援措置、特別の対策としての政府による取組等を措置。

(2) 基幹インフラの安全性・信頼性の確保

(3) 先端的な重要技術の開発支援

(4) 特許出願の非公開

特定重要物資の候補

国民の生存に必要不可欠

- 抗菌性物質製剤
- 肥料

広く国民生活又は経済活動が依拠

- 半導体
- 蓄電池
- 永久磁石
- 重要鉱物
- 工作機械・産業用ロボット
- 航空機の部品
(大型鍛造品、炭素繊維、CMC)
- クラウドプログラム
- 天然ガス
- 船舶関連機器
(エンジン、ソナー、プロペラ)